

第5章 計画の推進

1 周知及び啓発

本計画の目的である「地域共生社会」を実現するためには、より多くの町民、団体、事業所等に本計画を知っていただくことが必要不可欠です。

そのため、福祉分野のみならず、幅広い分野と連携し、あらゆる機会を通じて周知に努めます。

また、福祉に関する制度や組織、認知症や障がい等に関する正しい知識の普及・啓発に努め、地域の困りごとを“我が事”として捉えていく意識の醸成を図ります。

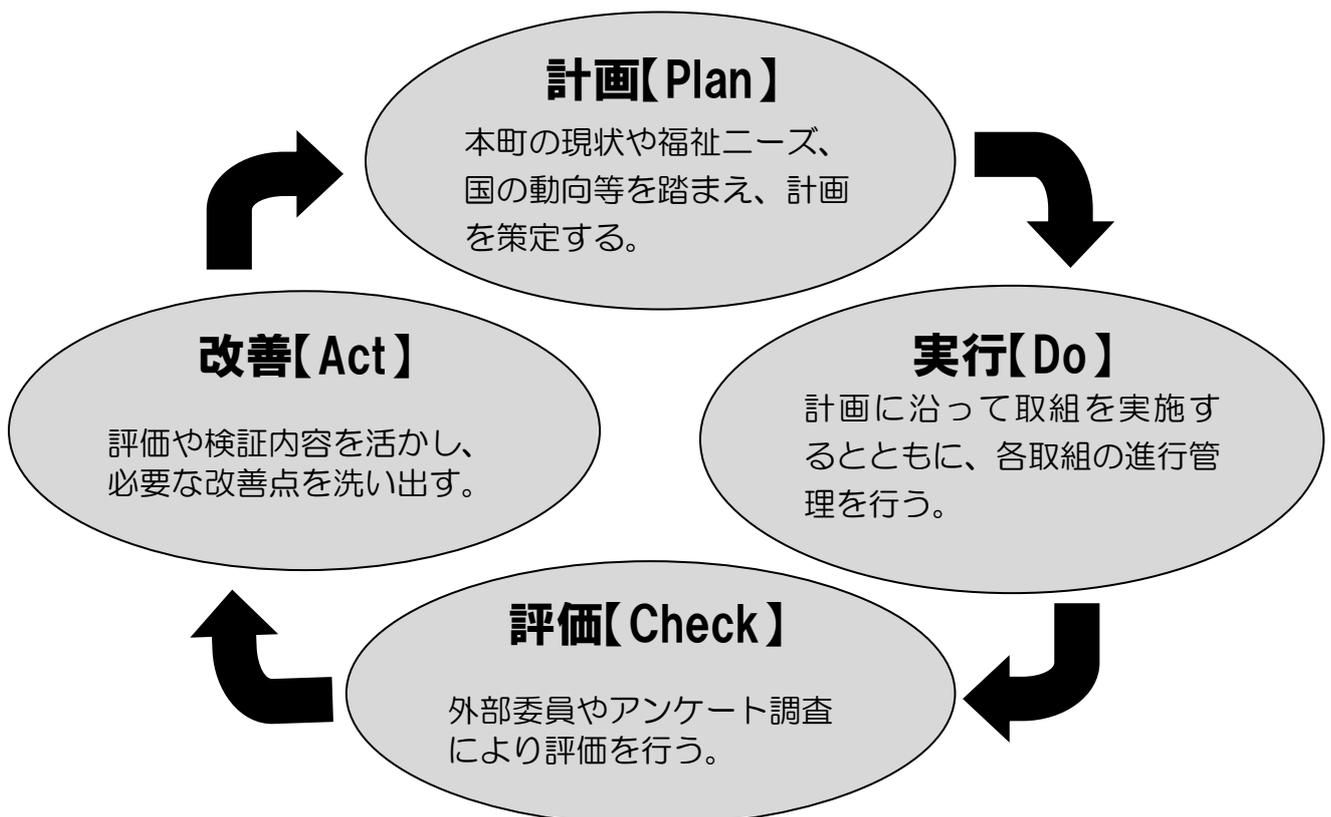
2 計画の進行管理

計画の進行管理を行うために、実施目標と成果指標を設定します。

実施目標は、第4章「施策の展開」における町及び社会福祉協議会の取組ごとに設定し、毎年度、進行管理を行うとともに、中間年度（令和4（2022）年度）と最終年度（令和7（2025）年度）には外部評価を行います。

また、成果指標は、アンケート調査結果から抜粋したものを基本目標ごとに設定し、次期計画策定前（令和6（2024）年度）に行うアンケート調査により、その達成状況を評価します。

そして、PDCAサイクルに基づき、取組の評価・検証を行う際には、目標値への達成状況だけでなく、その実施手法が適切であったかといったプロセスにも着目することで、効果的な計画となるように努め、社会情勢の変化やニーズの変化に伴う新しい課題に対応していきます。



■実施目標

事業名	指標（単位）	実績	目標	
		平成 30 （2018）年度	令和 4 （2022）年度	令和 7 （2026）年度
地区社会福祉協議会*の設置	設置数（学区）	0	1	1
全庁横断的な連携体制の構築	連携体制の構築	構築	継続	継続
障がいのある人の支援の「受け手」「支え手」を越えた関係づくり	活動団体数（団体）	4	4	5
	助成金の交付	継続	継続	継続
高齢者の支援の「受け手」「支え手」を越えた関係づくり	活動団体数（団体）	11	14	17
	助成金の交付	継続	継続	継続

※重点プロジェクトの施策のみ掲載しています。

■成果指標

基本目標 1 みんなの困りごとを早期発見・予防する仕組みづくり

成果指標	現状	目標値
地域の福祉について「とても関心がある」「ある程度関心がある」人の割合	65.8%	76%
【成果指標と目標値の考え方】 地域の中の困りごとを早期発見するためには、地域の福祉への関心を高めることが必要です。平成 30（2018）年度東郷町住民意向調査では、「まちづくりに関心がある人」の割合は 76.5%であったことから、まちづくりと同じくらい地域の福祉への関心を高めることを目指します。		

基本目標 2 みんなでつなぎ・みんながつながる体制づくり

成果指標	現状	目標値
「ご近所づきあい」について、「何か困ったときには、相談し、助け合える」「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」人の割合	31.8%	42%
【成果指標と目標値の考え方】 アンケート調査で、「現在のご近所づきあい」と「理想のご近所づきあい」の程度について質問したところ、「何か困ったときには、相談し、助け合える」「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」の「現在」と「理想」に、大きな差があることがわかりました。 また、地域の中でつなぎ・つながる体制づくりのベースとして、ご近所づきあいは重要であるため、「理想のご近所づきあい」に近付けることを目指します。		

基本目標3 丸ごと受け止める体制づくり

成果指標	現状	目標値
組織・制度の認知度 (組織・制度について「名前も内容も知っている」人の割合)	社会福祉協議会 22.6%	34%
	地域包括支援センター 18.8%	28%
	障がい者相談支援センター 14.7%	22%
	民生委員・児童委員制度 23.4%	35%
	東郷町避難行動要支援者登録制度 4.3%	10%
	成年後見制度 17.9%	27%
<p>【成果指標と目標値の考え方】 地域の中で“丸ごと”受け止める体制づくりには、早期発見した困りごとをどこにつなげば良いのかを多くの人に知っていただくことが必要です。そのため、福祉に関する組織や制度の認知度を高めることを目指します。</p>		

基本目標4 適切な福祉サービスの提供

成果指標	現状	目標値
必要な福祉の情報について、「十分に得られている」「まあまあ得られている」人の割合	33.9%	50%
<ul style="list-style-type: none"> 障がい者（児）への福祉サービス 高齢者への福祉サービス 子育て支援サービス について、「満足」「やや満足」の人の割合（平成30年度東郷町住民意向調査から抜粋。集計数：2,085）	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者（児）への福祉サービス：12.2% 高齢者への福祉サービス：18.2% 子育て支援サービス：30.2% 	各10ポイント増加
<p>【成果指標と目標値の考え方】 支援を必要としている人が適切に福祉サービスを利用するためには、必要な情報をきちんと得られていることが重要です。 また、福祉サービスが単に提供されるだけでなく、その人に適したものであることも重要であるため、各福祉サービスへの満足度を高めることを目指します。</p>		

基本目標5 見守り・支え合う体制の充実～合言葉は「ありがとう」「お互いさま」～

成果指標	現状	目標値
ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加したことがある人の割合	11.5%	20%
<p>【成果指標と目標値の考え方】 地域の中で見守り・支え合う体制を構築していくためには、ボランティア等の存在が欠かせません。そのため、まずは、ボランティア等に参加したことがある人を増やし、継続的な活動へとつなげていきます。</p>		